

◎大学授業開発論 I

大阪大学大学院医学系研究科看護実践開発科学講座

博士前期課程 1 年 大串 晃弘

開講科目名：看護学入門～社会資源と身近な医療～

単位数：2

担当教員：大串 晃弘

サブタイトル：社会資源と身近な医療

履修対象：看護学専攻の大学学部 1・2 年生

開講時期：未定

授業のキーワード：医療、看護、介護、社会資源

授業の目的

医療専門職である看護師として、日常生活において病気や障害などの問題に直面したとき、必要となる支援や援助について予測することで、対象者のニーズを捉えることができる。また、ライフサイクルや日常生活動作（ADL）に応じて必要な保健福祉システムや社会資源を選択することができる。そして、看護師として、どのような場面で対象者とつながりを持つかを学ぶことができる。

到達目標

- ①ライフサイクルに応じて利用できる保健福祉システムについての概要を説明できる。
- ②日常生活動作（ADL）に応じて利用できる社会資源についての概要を説明できる。
- ③日常生活を送るうえで、対象者の状況にあった必要な支援や援助を簡潔に述べることができる。
- ④医療専門職として、看護師の職域の概略を述べることができる。
- ⑤グループワークを通して、コミュニケーション能力を学ぶことができる。

履修条件：特に無し

授業計画：授業形態：学習方法

本授業では、人間が健康問題や社会的な問題により、何かしらの支援や援助が必要になったとき、ライフサイクルや日常生活動作（ADL）に応じた保健福祉システムを通すことで、看護師が対象者とどのようにつながり、どのように介入していくかを学ぶことができる。具体的には、病気や障害に直面したとき、発達過程において、病気や障害がどのように日常生活に影響を及ぼすか、そして、日常生活に支障が出るときは、どのような支援や援助が必要になるかを、事例を通して学んでいく。また、支援や援助を受けるうえで、関連してくる医療福祉システムの概要や関連法規、具体的な支援内容について学ぶことができる。授業形式は、講義法のほか、適宜グループディスカッションを行い、日常生活での問題点などを幅広く共有し、出てきた問題点に対して、さらにディスカッションを行うことで、保健福祉システムや支援内容に関する学びを深めていく。

授業スケジュールと授業内容

授業内容		手法
第一部：対象者と看護のつながり		
①	看護の起源と看護理論 ・授業の概要説明 ・看護のイメージ ・看護のルーツ(ナイチンゲールとヘンダーソン) ・ナイチンゲールは何をしたのか？	講義法 Think,Pair&Share マインドマップ法 ミニッツペーパー

	・人間、健康、環境にかかわってくる看護	
②	人間とは ・医療の対象者とは誰なのか？ ・人間と健康 ・人類と障害(感染症、災害、病気など) ・ライフサイクル	講義法 Think,Pair&Share マインドマップ法 ミニッツペーパー
③	健康とは ・健康に対する考え方 ・どこまでが健康か ・死をどのようにとらえるか ・医療と倫理	講義法 Think,Pair&Share マインドマップ法 ミニッツペーパー
④	環境とは ・日常生活としての環境 ・人間を取り巻く環境 ・社会資源としての環境	講義法 Think,Pair&Share マインドマップ法 ミニッツペーパー
⑤	看護とは ・保健師、助産師、看護師とは ・看護師のお仕事 ・保健師、助産師のお仕事 ・医師やその他の医療者とのかわり	講義法 Think,Pair&Share マインドマップ法 ミニッツペーパー
第二部:事例を通して看護を考える		
⑥	対象者が子供のケース(その①) ・どういった問題が発生するのか ・対象者のニーズ ・人間、健康、環境、看護で考える	講義法 Think,Pair&Share マインドマップ法 ミニッツペーパー
⑦	対象者が子供のケース(その②) ・対象者が子供のケースの発表(問題、ニーズ、社会資源など) ・関連法規と社会資源	講義法 グループワークの発表 ミニッツペーパー
⑧	対象者が壮年期のケース(その①) ・どういった問題が発生するのか ・対象者のニーズ ・人間、健康、環境、看護で考える	講義法 Think,Pair&Share マインドマップ法 ミニッツペーパー
⑨	対象者が壮年期のケース(その②) ・対象者が子供のケースの発表(問題、ニーズ、社会資源など) ・関連法規と社会資源	講義法 グループワークの発表 ミニッツペーパー
⑩	対象者が高齢者のケース(その①) ・どういった問題が発生するのか ・対象者のニーズ ・人間、健康、環境、看護で考える	講義法 Think,Pair&Share マインドマップ法 ミニッツペーパー
⑪	対象者が高齢者のケース(その②) ・対象者が子供のケースの発表(問題、ニーズ、社会資源など) ・関連法規と社会資源	講義法 グループワークの発表 ミニッツペーパー
⑫	対象者が終末期のケース(その①)	講義法

	・どういった問題が発生するのか ・対象者のニーズ ・人間、健康、環境、看護で考える	Think,Pair&Share マインドマップ法 ミニッツペーパー
⑬	対象者が終末期のケース(その②) ・対象者が子供のケースの発表(問題、ニーズ、社会資源など) ・関連法規と社会資源	講義法 グループワークの発表 ミニッツペーパー
第三部：保健師と助産師と看護師		
⑭	保健師と助産師と看護師 ・関連法規 ・保健師の分野 ・助産師の分野 ・看護師と介護師 ・看護の展望	講義法 Think,Pair&Share ミニッツペーパー
⑮	まとめ ・人間、健康、環境、看護で考える ・対象者の全体像を捉える	講義法 Think,Pair&Share ミニッツペーパー

成績評価

評価手法		対応する到達目標
グループワーク（認知的領域評価）	15p×4 回分=60p	①②
レポート（認知的領域評価）	25p	①②③④
授業態度・意欲（情意的領域評価）	15p	⑤

受講生へのメッセージ

日本の医療に貢献したいと思っている皆さん、看護と聞いてどんなイメージを持っていますか？看護師がどのような仕事をしているかイメージできますか？近年、医療は数十年の間にめまぐるしい変化を遂げました。それに伴い、医療を提供する看護の状況も劇的に変化しています。これから看護を学ぶ皆さんにとって、看護＝病院の看護師のイメージが強いと思われます。しかしながら、時代の変化とともに、社会から求められるニーズや役割も、大きく変化しています。しかしながら、看護に求められる本質は、実は大きく変わっていないのではないかと思います。この授業では、これから看護にかかわってくる皆さんに、看護が対象者とどのようにかかわっているか、また、看護師として、将来的にはどのような選択肢があるのかを知ってもらい、自分たちの可能性を知ってほしいと思います。看護師になりたい人はもちろん、なんとなく医療がしたい人、人の役に立ちたい人など、これからの医療に貢献したいと持っている人には特におすすめの内容であると思います。